



ヤツデ

2019年11月27日
(毎週水曜日発行)

<http://www.nsci.co.jp>

発行所：(株) NSC 佐賀市日の出1丁目16-19
TEL 0952・97・9643 FAX 0952・97・9647



原理事長



日特建設の岩崎次長

ジオファイバー、SWライナー工法等も 『環境と防災と維持管理』

ミラクルソル協会が技術研修会

ミラクルソル協会(原裕理事長)は21日、令和元年度(第27回)『環境と防災と維持管理技術』研修会を唐津市高齢者ふれあい会館りふれで開催した。CPDS・CPD認定8ユニット認定。建設会社やコンサル、官公庁などから約120人が参加。発泡廃ガラス「ミラクルソル」の環境負荷低減技術のほか、ジオファイバー工法など斜面防災技術、また管更生技術 SW ライナー工法の現状の報告も行われた。

冒頭、原理事長が挨拶の中で本年、佐賀や関東・東北で相次いだ台風に伴う水害被害を挙げ、大気中の二酸化炭素を減らす環境負荷低減工法の積極的な採用を求めた。

次いで、演題『ミラクルソルの環境負荷低減技術』で講演。多孔質のミラクルソルを使った環境緑化工法・同土木工法・自然環境工法・水環境工法について解説。水産養殖用ろ過材クリスタルバイオも2008年から世界13か国に合計2535㎡を輸出。また、FWG透保水性舗装工法は、夏場の道路路面温度を最大17度抑制し、ミラクルソル層が帯水

層となり降雨時の都市型洪水を緩和することができる。

同工法は本年度、公益社団法人発明協会の九州地方発明表彰「佐賀県発明協会 会長賞」を受賞した。

次いで、日特建設(株)九州支店の岩崎玄之技術部次長が『環境防災技術から法面維持管理まで』の演題で報告。同社が特許を持つ連続繊維補強土によるジオファイバー工法や老朽法面をはつり取らず補修するニューレスプ工法について解説。また、道路土構造物の点検要領の改正内容や吹付法面の健全度評価についても説明した。

このほか、岡三リビック(株)の鳥飼貴人・リバイブ創新部部長が『管更生技術の現状(SWライナー工法技術審査証明改定の報告)』と題して講演した。

【11月25日HP掲載】